



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 天馬株式会社

コード番号 7958 URL <http://www.tenmacorp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤野 兼人

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 堀 隆義

TEL 03-3598-5515

四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	56,603	△6.6	3,453	5.4	3,629	△10.8	2,947	△7.0
28年3月期第3四半期	60,629	10.4	3,276	80.2	4,068	44.7	3,169	△0.2

(注)包括利益 29年3月期第3四半期 △1,162百万円 (—%) 28年3月期第3四半期 818百万円 (△80.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	122.14	—
28年3月期第3四半期	129.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	84,375	69,898	82.8	2,896.71
28年3月期	87,443	72,029	82.4	2,984.99

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 69,898百万円 28年3月期 72,029百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
29年3月期	—	20.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	76,000	△6.5	4,200	△7.7	4,600	△15.8	3,700	3.5	153.33

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	27,813,026 株	28年3月期	28,813,026 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期3Q	3,682,979 株	28年3月期	4,682,561 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	24,130,332 株	28年3月期3Q	24,429,220 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)におけるわが国経済は、企業の生産活動や輸出が緩やかに回復し、雇用・所得情勢が堅調に推移する中で個人消費も持ち直す等、緩やかな景気回復基調が続きました。

一方、世界経済は米国で着実な景気拡大が続き、欧州でも緩やかな景気回復が見られましたが、中国をはじめとする新興国では景気が減速し、米国の新政権誕生や英国のEU離脱問題等で先行き不透明感が高まっております。

このような状況の中、当社グループの連結業績は、ハウスウエア合成樹脂製品分野の売上高が、中国においてネット販売が好調で増加しましたが、工業品合成樹脂製品分野の売上高が、円高進行によって海外での売上高の円換算額が縮小したこと等により減少しました。

この結果、売上高は566億3百万円(前年同期比93.4%)となりました。

利益面につきましては、ハウスウエア合成樹脂製品分野の売上増と原価改善等により営業利益が34億53百万円(前年同期比105.4%)となり、経常利益は前年同期との比較では投資有価証券売却益と為替差益が減少する一方で、為替差損が増加したこと等により36億29百万円(前年同期比89.2%)となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、29億47百万円(前年同期比93.0%)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(日本)

ハウスウエア合成樹脂製品分野は、新型収納ケース「プロフィックス カバコ」をはじめとする新製品の市場投入等で売上高が順調に伸長していましたが、秋口に天候不順の影響等を受け、足踏みを余儀なくされました。工業品合成樹脂製品分野は、取引先の生産海外シフトに起因する電機電子等の受注減により売上高が減少しました。利益面は、原価改善等が寄与したものの売上高減少の影響が大きく、前年同期比減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、174億30百万円(前年同期比95.6%)となり、セグメント利益(営業利益)は16億64百万円(前年同期比81.7%)となりました。

(中国)

上海天馬精塑有限公司で工業品に比べ収益性の高いハウスウエア合成樹脂製品分野の売上が伸長し、厳しい状況にあった天馬皇冠精密工業(蘇州)有限公司で業績が改善傾向に転じました。

この結果、当セグメントの売上高は、194億49百万円(前年同期比90.3%)となり、セグメント利益(営業利益)は13億80百万円(前年同期比141.2%)となりました。

(東南アジア)

好調を続けていたベトナムのTENMA VIETNAM CO., LTD.の業績が伸び悩みましたが、タイのTENMA (THAILAND) CO., LTD.で、新設の第2工場の稼働率が向上して、収益性が改善し業績に貢献しました。

この結果、当セグメントの売上高は、197億23百万円(前年同期比94.5%)となり、セグメント利益(営業利益)は11億76百万円(前年同期比124.2%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて30億68百万円減少し、843億75百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が12億33百万円、その他有形固定資産が建設仮勘定の減少等で5億91百万円、現金及び預金が5億29百万円、それぞれ減少したこと等によります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて9億37百万円減少し、144億77百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が6億76百万円減少したこと等によります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて21億32百万円減少し、698億98百万円となりました。これは、自己株式の消却により控除項目である自己株式が14億50百万円減少したこと、その他有価証券評価差額金が13億79百万円増加したこと、為替換算調整勘定が54億99百万円減少したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における連結業績は概ね想定の範囲内で進捗しておりますので、平成29年3月期の業績予想につきましては、平成28年11月4日に公表いたしました内容を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を、第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,141,629	31,613,435
受取手形及び売掛金	15,807,462	14,574,360
商品及び製品	2,291,890	2,344,339
仕掛品	493,328	601,489
原材料及び貯蔵品	3,334,117	2,981,410
繰延税金資産	220,244	213,540
その他	1,718,871	1,497,169
貸倒引当金	△5,635	△4,226
流動資産合計	56,001,907	53,821,515
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,415,051	9,067,081
機械装置及び運搬具(純額)	9,263,627	8,929,291
その他	3,389,432	2,798,853
有形固定資産合計	22,068,111	20,795,226
無形固定資産	3,182,265	2,823,610
投資その他の資産		
投資有価証券	5,116,609	5,891,970
退職給付に係る資産	665,838	673,041
繰延税金資産	5,042	4,263
その他	425,433	375,162
貸倒引当金	△22,288	△10,122
投資その他の資産合計	6,190,633	6,934,314
固定資産合計	31,441,008	30,553,150
資産合計	87,442,915	84,374,665
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,544,639	8,868,254
未払法人税等	574,694	402,931
賞与引当金	862,108	621,937
その他	3,219,641	3,316,124
流動負債合計	14,201,082	13,209,246
固定負債		
役員退職慰労引当金	216,388	235,695
退職給付に係る負債	247,516	262,450
資産除去債務	20,287	16,906
繰延税金負債	728,250	752,499
固定負債合計	1,212,441	1,267,550
負債合計	15,413,524	14,476,796

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,225,350	19,225,350
資本剰余金	18,924,500	18,924,500
利益剰余金	36,125,913	36,653,511
自己株式	△6,793,775	△5,343,666
株主資本合計	67,481,988	69,459,694
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	576,518	1,955,413
為替換算調整勘定	3,878,627	△1,620,146
退職給付に係る調整累計額	92,130	102,804
その他の包括利益累計額合計	4,547,275	438,071
非支配株主持分	129	103
純資産合計	72,029,392	69,897,869
負債純資産合計	87,442,915	84,374,665

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	60,629,287	56,602,597
売上原価	49,928,107	45,554,897
売上総利益	10,701,179	11,047,700
販売費及び一般管理費	7,424,929	7,594,802
営業利益	3,276,250	3,452,898
営業外収益		
受取利息	186,291	159,240
受取配当金	178,392	163,676
投資有価証券売却益	355,473	159,287
為替差益	13,687	—
その他	129,936	101,197
営業外収益合計	863,779	583,400
営業外費用		
売上割引	64,004	69,600
開業費償却	4,011	97,494
為替差損	—	236,806
その他	3,959	3,495
営業外費用合計	71,973	407,395
経常利益	4,068,056	3,628,903
特別利益		
固定資産売却益	16,187	19,739
会員権売却益	8,743	—
特別利益合計	24,930	19,739
特別損失		
固定資産売却損	2,961	2,072
固定資産除却損	2,834	4,251
特別損失合計	5,795	6,323
税金等調整前四半期純利益	4,087,191	3,642,318
法人税等	918,488	695,125
四半期純利益	3,168,703	2,947,193
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△15	△6
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,168,717	2,947,199

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	3,168,703	2,947,193
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△574,179	1,378,894
為替換算調整勘定	△1,746,907	△5,498,786
退職給付に係る調整額	△29,320	10,675
その他の包括利益合計	△2,350,406	△4,109,217
四半期包括利益	818,297	△1,162,024
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	818,343	△1,162,005
非支配株主に係る四半期包括利益	△46	△19

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年5月13日開催の取締役会において、自己株式を消却することを決議し、平成28年5月27日に自己株式1,000,000株の消却を実施いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ1,450,870千円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	中国	東南アジア	合計
売上高				
外部顧客への売上高	18,230,838	21,535,043	20,863,406	60,629,287
セグメント間の内部売上高 又は振替高	124,858	87,426	116	212,399
計	18,355,695	21,622,469	20,863,521	60,841,686
セグメント利益	2,036,151	977,257	946,598	3,960,006

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,960,006
セグメント間取引消去	3,978
全社費用(注)	△687,733
四半期連結損益計算書の営業利益	3,276,250

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門に係る費用であります。

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	中国	東南アジア	合計
売上高				
外部顧客への売上高	17,430,000	19,449,190	19,723,407	56,602,597
セグメント間の内部売上高 又は振替高	84,354	179,484	18,929	282,767
計	17,514,354	19,628,674	19,742,336	56,885,364
セグメント利益	1,663,906	1,379,785	1,175,993	4,219,684

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	4,219,684
セグメント間取引消去	△281
全社費用(注)	△766,505
四半期連結損益計算書の営業利益	3,452,898

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門に係る費用であります。